

「輝く雪」のまち

ぬまた町

みんなの議会

2016年2月
第64号

雪の中

威風堂々

沼田消防団出初式分列行進

主
な
内
容

- ◎ふるさと納税2億円をこえる!! (第1回臨時会) 2ページ
- ◎町内建設業の活性化を **一般質問** 5ページ
- ◎平成26年度決算認定される 8ページ
- ◎空家を地域資源に (総務民教常任委員会) 9ページ

平成27年 第4回 定例会 12月17日

主な内容

- ・マイナンバー関係
顔認証システム機器とプリンター導入費です。
158万円
- ・子育て支援費
139万円
- ・子育て医療費
79万円
- ・旭町高齢者住宅
備品購入費
92万円
- ・ゆめつくる・小学校・中学校・体育館・旭寿園のAEDが更新されました。
一台 約25万円
- ・ふるさと納税の
事務用封筒
68万円
- ・日暮前教育委員長から学校教育振興基金に100万円が寄付され全額を積み立てました。図書購入にあてられます。

提出され可決した条例

◎町立沼田厚生クリニックは町民の健康保持増進に必要な医療を提供するため、管理及び運営について必要な事項を定めました。

◎沼田町行政手続きおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例について

◎沼田町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の一部改正

固定資産評価 審査委員の選任

現委員の大西晴彦氏が任期満了になりました。引き続き同氏の再任に同意しました。

横山佳幸氏の任期満了に伴い新たに荒木勉氏が選任され同意しました。

TPP「合意」 内容の徹底した 情報公開と検証 を求める意見書

承認手続きに入る前に政府においては、交渉過程を含めた徹底した情報公開を行い、TPP合意内容の全容と影響などについて国民各層に対する説明責任を果たすこと。

また、国会においては、衆参両院の農林水産委員会における国会決議との整合性について真摯に徹底した検証を行うこと。その結果、国会決議に違反すると判断された場合は、速やかにTPP合意撤回をすることを強く要望する。(一部抜粋)



第1回 臨時会

1月13日

主な議案

- ◎一般会計補正予算
9493万円を追加し総額を52億6611万円にしました。
- 歳入
・ふるさとづくり基金指定寄附 12月に8400万円の寄附を受け総額2億618万円になりました。
- 歳出
・ふるさと応援費から記念品など3395万円
・公営住宅の入浴設備に292万円
- ◎専決処分として町税条例等の一部が改正されました。

上程された主な議案

12月17日から平成27年の第4回定例会が開催されました。

◎平成26年度、一般会計及び水道事業会計の決算認定

◎一般会計補正予算
408万円を減額し総額を51億7117万円としました。

◎沼田町過疎地域自立促進
市町村計画

コンパクトエコタウン構想との整合性をとるため、一部変更が提出され可決しました。

町長への一般質問

問 日本二の子育て支援を

答 切れ目のない支援をする



之 範 野 鶴 議員

では何の差別化もなく、かえって劣っているのではないかと心配されます。

どのような事業が他の市町村よりも満足度を高めているのか。子育て政策による総事業費はいくらか、子ども一人当たりになるとどの位で、近隣と比べてどの程度なのか。

今後は、どの様に子育て日本一を目指すのか。

問 政策の柱として「子育て満足度日本一を目指す」ことが上げられています。しかしながら、子育て世帯からの満足感が、それほど感じられていないように見受けられます。

今、地方創生の中でこの町でも、子育て支援の充実が図られています。12月6日の道新には子どもの医療費助成について各町の助成年齢が掲載され、本町は15歳までなのに対して、他町では18歳もしくは22歳までなど、充実度が高まっています。

近隣市町と比べると、満足度日本一を目指す町とし



乳幼児検診のようす



医療費助成の部分だけで判断され

では困ります。

例えば、医療費助成を18歳までに広げた場合年間120万円ぐらいが想定されます。ただ沼田町では「がんばる高校応援」で816万円の助成をしています。それから、近隣の市町より先掛けて、予防接種や保育料の軽減助成に取り組ん

でいます。

さらに今年からは認定こども園により二重保育、延長保育の問題が解決されま

す。希望保育が利用しやすく成ります。子育て支援費は1億1400万円くらいで、一人当たり30万円になります。今後は安心して妊娠から出産までの切れ目のない支援をしていきたい。

国がそれぞれの国会で議論、議決しなければならぬのです。

人間が生きる糧の食糧を金儲けの材料にするのは間違いだ。

反対運動を盛り上げなければと思うがどうか沼田町に対する影響はどうなるか



現状ではそれだけの情報は来ていません。

今のところ、状況は申し上げられませんが、基本的に国会で決議したものを守っていくことが、前提と認識します。

700ページだという。英語、スペイン語、フランス語で書かれていてそれを日本語に訳さなければならぬという。また、12か

国のTPP対策を含め、私共も、沼田農業をきちんと守っていきたい。

問 町の基幹産業を守るためTPPに反対を

答 沼田農業を守っていく



守 場 橋 議員

問 TPP大筋合意で、関税が重要5品目の中

でも30%以上なくなるのが明らかになっている。新聞は大筋合意で決まったと思わせるように報道するが始まったばかりだ。

協定の本文が600ページ、付属文書その他でも1

橋場守議員のその他の質問

問 戦争する国に進むことに反対せよ

答 安全保障関連法制は、国のルールの中で決められたと理解している

問 生活扶助基準引き下げに反対せよ

答 色々な配慮をしています

問 マイナンバーは辞めよ

答 きちんとした行政事務が行える

**問 新商業施設の
綿密な収支計画を説明せよ**

答 検討中なので細かい説明はできません



宏 元 議員
久 保

問 商業コミュニティ中心核施設は、沼田町・沼田町商工会・北いぶき農業協同組合の三者から共同出資で作られる運営法人「まちづくり沼田」が経営することに決まりました。話が出た4年前、一民間企業に、お金をかせないという事と、



現在のAコープ店

コンビニ程度なら沼田町は投資する価値がないという2つの町長のイメージが綿密な収支計画を前提にしないところでは、町長のイメージと違う風になるのではないかと思えます。運営法人の健全な経営とより効果的な政策実現の為に、綿密な収支計画を町民と国に説明する責任が出資した町にはあると私は思います。運営法人に関して、1つめには収入は家賃収入のみで、この運営法人は管理されるのか。2つめはその収入をどのように支出するのか。3つめは、運営法人の売り上げの想定年額と利益額、どのように町長は考えているのか。また赤字を補ったような場合には、町長はどのような準備を考えているのか。施設総面積はどのような建物になるのか。その財源はどう準備をしているのか。

最後に建築維持費、修繕費、将来のリニューアル費はどのように準備するのか。



出資は予算化してはいますが、執行支とか全体的な機構について今運営会社の方で検討している最中なので、細かい

出資は予算化してはいますが、執行支とか全体的な機構について今運営会社の方で検討している最中なので、細かい

**問 将来の沼田農業の振興策を
どう考えているのか**

答 国の動向を見ながら必要な政策を実行したい



聡 小 議員

問 沼田農業の抱えている農業問題は非常に多岐に渡っている状況で将来に向けて新たな対策をこれから考えていかなければならないと考えております。今後の農家の経営安定に向けて農業振興策をどのように考えているのか。

2番目に高齢化に伴って、

質問に関しては現時点では説明できません。我々がきちっと論議した中で、これに對する判断をしなければいけないと考えています。施設に関しても、動いている状況です。それらも含めて精査をして、早く結論を出して三者で最終的に協議をしたいと思えます。

農業収支が悪くなったとしたら離農する方が多くなるのではないかと思っております。耕作放棄地が発生しないように、農地流動化対策としてどのように考えているのか聞きたい。

また、農業者が一堂に会して沼田農業について話をする場を、ある程度定期的に行う必要はあるのではないかと考えています。町長はどのように考えているのか聞きたい。



持続的に沼田の農業を維持発展さ

せるために、高収益作物の生産条件整備事業という形で、ハウス等面積の増加の場合の外部労働力に対する費用の半額助成を今年させていたいただきました。国の動向を見ながら、進めていかなければいけない問題は多岐に渡っていますので、色々な事を論議しながら、必要な政策を今後とも実行していきたい。また農地の流動化など色々な面で、農業生産法人の設立やその強化について今後必要と考えています。

個人の経営は農家自身ができるような営農をするか考え方を持たなければ解決しない。町が考えたり農協が考えるという問題ではないと思えます。



収穫のようす

問 地元建設業が

元気になる施策が必要だ

答 建設業協会としっかり議論して行きたい



杉本 邦雄
本議員

問 町が支援している建築事業が、町外業者によって施工されている事例がここ数年見受けられます。

例えば「ハスコート2」や今年度新築された「テラスハウス」は、町外業者によって建築されました。認定こども園も社会福祉法人が行った入札の結果、町外業者によって施工されています。個人住宅についても、町内企業を優位にする施策がありながらハウスメーカーに押され気味の状態です。施設や住宅の建築は当該企業だけではなく関連企業

杉本邦雄議員のその他の質問

問 将来的な訪問看護・介護の展望は

答 地域包括ケアの中で充実させていく



民間で運営されているハスコート2

にも影響を及ぼし、業界の発展や町の活性化につながりません。アパート等の賃貸運営にはノウハウが必要なのは理解するが、町が後押しをして、町内業者の進出を促す施策が必要ではないのか。

コンパクトエコタウン構想の中にも、高齢者住宅や一般住宅の計画があります。これらも民間で行える事業であり、そのためにも町の建設業界の活性化が必要ではないのか。



町としても町内の企業の施工していただきたいという思いです。

ご指摘のあった賃貸住宅については、町内の企業に

も打診をしたところでは。

金融機関からの資金の借入れの問題や、10年後20年後にかかる建物のメンテナンスの問題などが阻害要因かと考えています。

今後計画する種々の住宅についても、民間企業の力

をお借りして取り進めることは、やぶさかではありませ

ん。今までは具体的な話が出ていないことは事実です。

建設業協会としっかり議論を進め、町内建設業の活性化に努めます。

問 生活のための交通手段を

しっかり確保すべきだ

答 困窮者が出ないように対応して行く



高田 勲
本議員

問 町内で住民の方達が移動する公共的な手段として、現在は町営バスと

町営のデマンドバス、そして民間企業が行っているタクシーがあります。過日、町より議会にも報告がありました。タクシー事業を行っている企業が、町からの経営支援が無ければ3月をもって事業撤退をしたいとのことでありました。

タクシーは公共交通機関

では網羅できない部分を、毛細血管のように補充してくれています。仮に町からタクシーが無くなると困るのは、高齢者の方や障害者を持つたれている方達です。

デマンドバス事業が、タクシー会社の経営を圧迫しているとの見方も出来ず、金額ベースでどの程度の影響をあたえているのか。

沼田町は人口が3300人程度の小さな町です。町には小規模自治体ならではの、きめ細やかな対応を願いたい。本件に対してどのような考えで望むのか。



現在、町内でタクシー事業を展開

し、町で行き届かない部分を担っていただいている企業様には、敬意を表しているところ。タクシー部門の採算が厳しいとの話は以前から聞かされてきました。町で運行しているデマンドバスが経営に与えている影響ですが、一ヶ月平均で15万円程度との報告を受けています。

タクシーが無くなると困る人たちがいます。現在はどうの対応が出来るのか、庁舎内で検討中。いずれにしても、困窮者が出ないような対応が必要。一方で町内企業も守らなくてはなりません。しっかりと対応してまいります。



民業圧迫の声も

追記 1月8日に当該企業より、4月以降もタクシー事業を継続するとの申し入れが町にありました。

問 学校周辺のカラス対策を

答 環境の対策を講じて行きたい



長 原 誠
議員

問 数年前より、夏から秋にかけて市街地にカラスが群れをなして飛来しています。

特に小・中学校周辺に集まってきています。町内のゴミ、生ごみの収集は適正に管理されていますので、他に何か捕食出来るものがあるのか、原因は不明ですが、場所が小・中学校のある教育ゾーンであることから、児童への危害の心配やフン害による周辺施設の被害も心配されます。

カラス被害は多くの町でも問題化しています。

町として対策を講じるべきと思うが、この現状を把握しているのか、周辺住民からの苦情はないのか、町長の考えを聞きたい。



カラスの飛来状況は理解しています。由々しき問題で私の町だけでなく、どの町でも苦慮しています。それぞれ対策を取っていますが、特効薬となる対策は行われていないのが現状です。

原因としては、ゴミの問題が大きいのと思います。一部ゴミに集まるカラスもいます。学校周辺は樹木も多く集まりやすい環境であること、ライスファクトリーが近く、カラスの食べ物豊富にあることが一因ではないかと思えます。現状、生徒への被害はありませんが、カラスの個体数を減らす緻密な努力が必要だと思います。

カラスの集まらない環境を作ることを、町民の協力をいただきながら進めて行きたい。

問 職員の不祥事防止について

答 公務員として恥じない態度で接する



大 沼 恒 雄
議員

問 全国の各公共団体の不祥事は年間に約4700件起きており、北海道でも年間に10件から17件ほど起きています。

道では職員の不祥事が相次いで発生した事から服務規律の確保や法令遵守の徹底について職員の一人一人が高い意識を持つことが必要とし、改めてその趣旨を徹底するために平成24年度から道庁全体で防止策に取り組んでいます。

沼田町においては沼田町職員の懲戒処分に関する規定が平成21年7月29日を最後に改定されていません。

組織内の倫理観・道徳観が低下していく事によって、不祥事が起きやすい職場環境が作られていくと人事院

は示しています。

職員は町民全体の奉仕者として職責を自覚し、誠実、公正に、かつ能率的に職務を遂行しなければならぬ。不祥事防止策として職員の服務規程、倫理規定及び交通違反者等に対する処分基準など関連する例規を見直してはどうか。



日頃の職場の中での問題、上司との関係、仕事の分担とか本当に複雑なものが要因してくると思います。

公務員として、意識の高い低いの問題はあると思います。

なかなか100%の状況ではないが、少しでもリスクを減らして皆さんにご迷惑をかけない行政の職員として研修を通じて、少しでもこれが減るような方向に向かっていると考えております。

また、職員には公務員と

傍聴席の生の声

質問が長すぎる。もう少し整理してはどうか。80代・男性

不祥事

非違行為、不適正事務、倫理条例等違反、道路交通法違反、報告義務違反をさします

して恥じない態度で接するように指導してまいります。

問 企業誘致の取組は出来ているのか

答 今後共、誘致に務めて行きたい



津川 均 議員

問 企業誘致の取組は、町長の行政報告の中で本年度は一万件の企業にアンケート調査を実施し、企業誘致活動を行ってきた。

町としての努力は理解するが、実績として上がっていないのが実態であります。昨年度より、一社が社屋建築に向けて進んでいるようですが、一万社に向けて毎年実施のアンケートの結果の検証を行っているのか、どういった対応をしているのか聞きたい。

す。

町長の見解を聞きたい。



アンケート調査は、今年度一万社

に案内し、385社の企業より回答を頂いております。その中で109社の企業がなんらかの関心、意向を示している回答を頂いております。

これらの企業に対し町として、年間を通して企業訪問し、沼田をPRし、今後の意向の動向もふまえながら対応しています。企業誘致は息の長い仕事であり、地道な企業訪問を続けることで将来の展望が見えてくると思います。アンケートの検証は、担当者の中で実施分析し、問題や課題を抑えてデータとして蓄積しています。今後共、企業誘致に努めたい。

教育長・町長への一般質問

問 パークゴルフ及び運営の考え方

答 パークゴルフ人口増に努力したい

津川 均 議員

問 パークゴルフ場年間利用者は、平成18年は、町内利用者が6700人、町外利用者が11000人でした。

年次ごとに利用者が減少し、今年も町内利用者が半数以下の3900人、町外利用者が3950人です。町外の利用者に聞くと沼田のパークゴルフ場は芝生の手入れが良く、全道各地からパークゴルフ愛好者が訪れています。今まで以上に内外にPRすべきだと思います。

今年も中学生が授業でパークゴルフ場を利用してご利用しています。今後、小学生の高学年も授業の中に取り入れて利用してもらえないか、親子のつながり、ふれあいなどの交流に役立つと

思います。

次に管理している職員の利用者の対応が素晴らしいと聞いています。継続して働いてもらうため職員の冬の期間の仕事の確保が出来ないか聞きたい。

又、現在のクラブハウスは団体が食事する「水郷庵」はあるが、少人数の休むスペースが狭いと感じます。改善出来ないか聞きたい。

教育長

健康増進、人と人の絆、仲間づくりに効果が高いのでパークゴルフ人口を増やして行くために4年前より町民に向けての大会を行っています。

沼田町教育長杯パークゴルフ大会の名称で、初心者向け

の大会として実施し親子での参加も数多く、評判も良い大会でした。

臨時職員には、パークゴルフ場に継続して働いて頂く考えです。冬季の雇用は検討して行きたい。クラブハウスの増築は難しいので現状のスペースを少し広げて対応したい。

臨時職員には、パークゴルフ場に継続して働いて頂く考えです。冬季の雇用は検討して行きたい。クラブハウスの増築は難しいので現状のスペースを少し広げて対応したい。



津川均議員のその他の質問

問 パークゴルフ場を道の駅にできないか

答 現状難しく検討していきたい

平成26年度 決算特別委員会

平成27年10月21日～26日

委員長 高田 勲 副委員長 小峯 聡

平成26年度沼田町一般会計に付した意見

平成26年度は沼田厚生病院が無床診療所となる中、町民が安心して生活を送るための数々の事業を展開し、住民サービスに努力されている事に議会としても理解を示します。しかし、職員の超過勤務が金額ベースで、平成25年度比で4.5%の増加、平成24年度比で18.7%の増加となっており、マンパワー不足は否めません。当年の実質公債費比率は、3.9%と前年を1.3ポイント下回りました。これは沼田町が健全財政運営を行っている証であり、職員各位の努力に敬意を表します。



コンパクトエコタウン構想による大型事業を控えている中、今後とも健全な財政運営に努めることを望みます。しかしながら、更なる検討努力を望む事業が見られることから、次の意見を付す。

(1) ほたる館の将来ビジョンについて

ほたる館は今後建物の改修などが予想され、運営についてはますます努力が必要となってきます。

町のビジョンをしっかりと持ち、それに沿った戦略を練って運営することを望みます。

(2) 生ゴミ排出量の減量化について

沼田町の生ゴミの排出量が増えている状況の中で、デスポーザーの普及は重要な課題です。その利便性や衛生環境の向上を訴えながら、課を横断しての総合的な取組を望みます。

平成26年度沼田町水道事業会計に付した意見

平成26年度においても、継続して古くなった配水管の設備改修が進められ、適切な維持管理が行われているが、有収水量は減少傾向にあることから、デスポーザー普及など他事業との連携により有収水量を確保し、健全な事業運営に努めるよう望みます。

総括質疑

防災について

・防災マップを配布したが機能していないのではないか

・町民の避難所、避難場所の認識が薄い。

利雪に対する考え方について

・将来的に雪とどうかかわっていく考えか。

生ゴミ堆肥製造機器について

・導入の経緯について

・現状の設備の状況と修繕費用について

合併農協と3町の連携について

・担当者同士の会議はあるが、トップ同士はどのように連携を図っているか。

図書館費と学校教育費について

・図書館の利用による学力の向上をうまく連動していくべきではないか

社会教育推進事業費の不要額について

・不用額がこれだけあればもっといろんな事業ができたのではないか

・せっかく使える予算があるなら計画的な執行をすべきではないか

和風園及び旭寿園、介護職員の処遇改善について

・10年後を見据えて、処遇改善を図り、しっかり教育していくべきではないか

新規事業の利用促進及び事業のスクラップについて

・使いやすい制度設計の検討するべき

総務民教 常任委員会 ★ 所管事務調査報告

委員長 久保元宏
副委員長 鵜野範之
委員 杉本邦雄
大沼恒雄
高田 勲

空き家対策

本委員会は、長期的な街づくり計画の中に空き家を、公費を投入する必要も含む危険かつ景観にそぐわない「特定空き家」と、活用できる「地域資源」に分けて、それぞれの対策を早期確立する必要があると考え、次の4点の意見を示し、調査報告とする。

「空き家」情報の整備と活用

「空き家」の把握は、印象の範囲に留まる恐れがある。より精度を上げるために、町内会や自治振興協議会の協力や、地域担当職員制度などを活用すべきである。さらに特措法により税情報の活用なども可能となったので、所有者の把握は必須作業である。

収集された情報は、判断技術のある協議会によって「特定空き家」などのランク分析をし、「解体」と「地域資源」に分けて「空き家」情報の不断の整備と更新を行うべきである。これを基本に、ホームページだけに頼らない効果的な移住定住の情報発信などを行う必要がある。利用者の目線に立って、「移住定住」、「住み替え」、「農地活用」、「民間アパート」など事業の組み合わせメニューの選択肢を作り情報発信をするなどの工夫が効果的であると考えます。



「地域資源」として、条例に「空き家」の寄附を盛り込む

使える「空き家」を町内外の方に有効に利用していただくためには、不動産業者のいない町として、行政の積極的な関わりが求められる。使えるうちに早急に利用していただく事業こそが、未来の「特定空き家」を生まない効果的な政策と言える。

「特定空き家」に、適正な期限と条件を付けた解体費の支援

応急処置だけでは抜本的な解決にはならない。未来の「空き家」を作らないためにも、短期間で「空き家」を減らす政策が求められる。

特措法をおぎなう条例の改正

特措法の任意規定を条例で規定しなければ、「空き家」対策は機能しない。代執行の条件整備や、組織体制、法務知識と判断技術力がともなう、より効果的な条例への更新が望まれる。これらを進めるにあたり、町の財源や能力などに過不足があれば、国や道への要望も必要である。



みんなの広場

これから



沼田町教育委員長 青木 健治

昨年9月末勇退された日暮茂男氏の後、新教育長制度の移行期間を不肖私が教育委員長を拝命する事となりました。

何分力不足の為、各関係でご迷惑をおかけすると思いますが、町民皆様のご指導を宜しくお願い致します。

さて、幼小中一貫連携教育も28年度は4年目を迎え、更なる充実、発展に向け新たな取り組みを順次進めていく事としています。

系統性を意識した効果的な小中交流授業、地域性を踏まえた独自教科の設定、学園化併せて「共育」の体制作り等、一貫教育学校に向けた始動の年となります。

オール年代層を含む社会教育の事業においても、諸行事の工夫改善、施設利用増の為の魅力PR等、模索しながら進めて参りたいと考えます。

町民皆様のご意見、アイデア等を頂きながら、今後とも心身学業健康に向けた事業施策に邁進して行きたいと考えますので、参加・ご協力の程を切に望みましてご挨拶にかえたいと思います。



平成28年1月10日 成人式

- 広報特別委員
- 大沼恒雄 高田 勲
 - 小峯 聡 長原 誠
 - 鵜野範之

三浦局長

将来、町民の皆さんが、安心して暮らせるための施設になるように、たくさんの方が意見を出し、自分たちの施設として、利用をしていただきたいと思っています。

町民の思いと行政の思いが乖離しないように、耳を傾ける議会でありたいと思います。

今年もよろしくお願ひします。

今年の思いを 漢字一文字



決

還



申

怒



情

己



健

寛



安

辛



三浦局長

尽

向

林書記

あとがき

一月は行く、二月は逃げる、三月は去ると、この時期よく言われる文句ですが、あつと言う間に春が来ます。今年はどうな年になるのでしょうか。

今年の沼田町は、認定子ども園が四月より開園して今までの問題が解決し、希望保育がしやすくなります。さらには、町立病院の建築、商業施設の建築がそれぞれ始まります。